

令和8年度 第1回 気仙沼地区教科用図書採択協議会 議事録

○日 時 令和8年6月9日（火）
午後1時50分～午後3時

○場 所 南三陸町教育委員会 教育長室

○出席委員 委員（会長） 小山 淳 気仙沼市教育委員会教育長
委員（副会長） 小松 祐治 南三陸町教育委員会教育長
委員（監事） 及川 貢 南三陸町教育委員会事務局長
委員 小野寺直美 気仙沼市教育委員会学校教育課長

○出席職員（事務局）

事務局員 熊谷 憲久 気仙沼市教育委員会学校教育課課長補佐兼学事係長
事務局員 高橋 遼子 気仙沼市教育委員会学校教育課主事

1 開 会（午後2時）（進行：熊谷）

2 挨 拶（小山会長）

本日はありがとうございます。今年度の教科書事務の開始にあたり、決めておくべきこととお諮りを申し上げて、次の審議会、専門委員会へ進めて参る会になります。今年度はまだ一般図書のための採択来年度は小学校の採択年度に当たることを考えますと、その予行的な演習も兼ねるのが今年度になると思いますので、お気づきの点等ありましたら今年度お話いただけると、事務局としても大変助かります。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 会議録署名委員の指名

南三陸町教育委員会 小松教育長にお願いする。

4 協 議 ※協議会規程第6条1項により会長を議長に選出
（議長：会長） 気仙沼市教育委員会小山教育長（暫定）

（1）報告第1号 令和7年度事業報告について（説明 熊谷）

- ☐ 資料に沿って説明
- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

（2）報告第2号 令和7年度決算報告について（説明 熊谷）

(3) 監査報告（報告：及川貢 委員）

- ☐ 資料に沿って説明
- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

(4) 議案第 1 号 令和 8 年度 気仙沼地区教科用図書採択協議会役員の選出について

- ☐ 気仙沼地区教科用図書採択協議会の規程第 5 条第 2 項，第 3 項により，会長については気仙沼市教育委員会の小山教育長，副会長には南三陸町の小松教育長，会計幹事には南三陸町の及川事務局長を選任することを提案。

- ☐ 質疑なし
- ☐ 次のとおり承認

会 長	小山 淳	気仙沼市教育委員会教育長
副会長	小松 祐治	南三陸町教育委員会教育長
会計監事	及川 貢	南三陸町教育委員会事務局長

(5) 議案第 2 号 令和 8 年度使用教科用図書採択基準について（説明 熊谷）

- ☐ 平成 29 年 6 月 8 日に宮城県教育委員会より示された基本方針と，本年度は毎年度採択することとなっている一般図書の採択基準が示されている。当協議会においてもこれらを採用し採択事務を進めたいことから提案するもの。

昨年度からの変更点は 1 内容に関すること （3）自立や社会参加につながる力の育成に資するものになっているか という部分。昨年度は 社会適応能力の向上を図り、自立や社会参加を促す配慮がされているか という表現であった。社会適応能力の部分について子供たちが適応するのではなく，社会が子供たちに適応していくという風に社会の状況が変化したもの。他の基準について変更点はない。

- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

(6) 議案第 3 号 令和 8 年度事業計画（案）について（説明：熊谷）

- ☐ 資料に沿って説明
- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

(7) 議案第 4 号 令和 8 年度予算（案）について（説明：熊谷）

- ☐ 資料に沿って説明
- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

(8) 議案第 5 号 令和 8 年度教科用図書採択選定審議会委員の委嘱について（説明：熊谷）

- ☐ 資料に沿って説明

選定審議会委員の選定については、気仙沼地区教科用図書採択協議会選定審議会要綱第2条第1項の規定に基づき、両市町の教育委員会からの推薦により10名の委員で構成するものであり、審議会委員の構成については各PTA連合会から4名、各校長会から6名の合計10名としており、今年度は別紙選定審議会委員名簿（案）のとおり提案する。

なお、来年度は審議会委員数について状況に応じ変更を検討したいと考えている。その際に当該要綱の改正が必要になる場合については、7月27日に開催を予定している第2回採択協議会で相談させていただく。

- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

（9）議案第6号 令和8年度教科用図書採択協議会専門委員会専門委員の委嘱について

（説明：熊谷）

- ☐ 資料に沿って説明

今年度は一般図書の選定に必要な教科用図書に係る調査研究を行っていただく専門委員になる。専門委員の選定については、気仙沼地区教科用図書採択協議会規程第9条の規定により、市町や学校の人数バランス、免許状や経験年数等を考慮した上で、管理職にも入って頂くことで、選任をしているところである。専門員名簿（案）のとおり提案する。

- ☐ 質疑なし
- ☐ 承認

5 その他

採択状況等の公開の方針について（説明：熊谷）

- ☐ 採択状況等の公開の方針（案）として、県からの指導により、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行期日施行令第14条第1項に規定する採択期限日の翌日の9月1日から公開するようにとのことから、今年度も市町のホームページにて9月1日から公開とすることを提案する。

- ☐ 質疑

- ・小山議長 昨年からの変更はあるのか。
- ・事務局 昨年度も9月1日からの公開としており、項目についても変更はない。

- ☐ 承認

- ・小山議長 その他皆さんから何かあるか。
- ・及川委員 先ほど来年度の選定審議会委員の人数について、既定の改正も含めて検討すると話があった。今年度だと10名だがここから増やしていくという考えか。
- ・小山議長 減らす方向とする予定。専門委員を確保しなければ選定事務を進めることができない。しかし審査にあたる人も確保しなければいけない。学校数が減り校長数が減る中で厳しい状況となる。専門委員には管理職にも入っていただくことが望ましい。現在の委員数となった経緯を教えてください。
- ・事務局 気仙沼地区教科用図書採択協議会選定審議会要綱を令和6年7月22日に改正して

いる。当時は推薦委員を13名以内としていたが、推薦委員を10名以内に改正しており、令和7年度から10名に変更している。

- ・小山議長 令和6年度の段階で10名以内でも厳しいという話はあった。専門委員会とセットで動かしていかなければならないことから、令和7年度からは10名以内とするが、近い将来専門委員も含めて見直しをかけることが必要と考えていた。これ以上委員数を減らすとなると気仙沼市と南三陸町のバランスも変更しなければならない。
- ・小松委員 小学校の専門委員会は何部会になるのか。
- ・事務局 令和5年度は12部会であった。
- ・小山議長 専門委員の人数は。
- ・事務局 国語4名、社会3名、算数4名、理科4名、生活4名、音楽2名、図画工作2名、家庭科2名、保健体育3名、英語4名、道徳3名、特別支援6名であった。規程では1教科2名以上としている。
- ・小山議長 過去には2日間調査研究の時間をとっていたこともあったが、実質1日で完了していた。最初から2日間確保すれば委員の皆様にお苦勞をおかけするが人数を増やすことなく実施できる。ただし旅費等の予算に影響は出る。学級数×150円を負担金としているが小中学校の採択年度は単価を変更している。
- ・小松委員 単価は地区ごとに決定して問題ないか。
- ・小山議長 問題ない。第2回の採択協議会で決定する。専門委員の人数を増やす、日数を増やすとなると負担金を増額する可能性もあることから、試算が必要。
- ・小松委員 前回の小中学校の採択年度はまだ役職定年という制度がなかったが、次回は役職定年後のキャリアのある先生に入ってもらえることもできる。
- ・小山議長 今後については検討し相談させていただく。

6 閉会（午後3時）

（小松委員）

本日は令和8年度第1回の教科用図書採択協議会ありがとうございました。様々な懸案事項はあるが、2市町しかないことから情報交換をしながら進めていければと思います。事務局には御苦勞をおかけするが南三陸町もできる限り協力したいと考えております。本日は本当にありがとうございました。

上記記録の正確なるを認め、ここに署名する。

令和8年6月9日

会議録署名委員

小松 祐治